

2/10

青少年健全育成茨城県推進大会  
青少年団体等顕彰を受賞

公益社団法人茨城県青少年育成協会主催の青少年健全育成茨城県推進大会が開催され、青少年育成指導者として粕谷修さん、平野啓太郎さんが表彰されました。

粕谷さんは、長年にわたり子ども会育成活動に尽力され、常陸大宮市子ども会育成連絡協議会長として現在も青少年の健全育成に貢献されています。平野さんは、長年にわたり大宮小スナッグゴルフの監督として、青少年育成活動に尽力されています。



▲ (左から) 粕谷修さん、平野啓太郎さん

3/4

上大賀地域資源保全会  
関東農政局から優秀賞受賞

関東農政局主催の「令和7年度関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰」で、上大賀地域資源保全会が優秀賞を受賞しました。この表彰は、農業が有する国土の保全や良好な景観の形成などの多面的機能を発揮するため、農地の草刈りなどの活動を支援する「多面的機能支払交付金」を活用し、優良な活動に取り組んだ組織に対し授与されるものです。

地域と連携した農地維持活動や交流会の実施などの取り組みが評価され、今回の表彰に至りました。



▲ (左から) 相田弘道さん、菊池秀明代表、助川進さん

3/4

友好都市で記念品交換  
大館市から秋田杉の記念品贈呈

友好都市協定を結んでいる秋田県大館市の教育委員会から、大宮小学校と大宮中学校の令和7年度の卒業生に対し、特産品である秋田杉で作られた卒業記念品が贈られました。小学生にはペンケース、中学生にはマルチスタンドで、それぞれの校章の焼き印が付けられています。

常陸大宮市からは西の内紙の卒業証書を大館市の小中学校4校に贈りました。



▲ (左2番目から) 大宮小学校代表で受け取る小松咲和さん、田代碧さん

3/7

市史刊行記念で開催  
小野天神前遺跡で矢じりを探そう！

『常陸大宮市史 資料編 1 考古』の刊行を記念して、同書の執筆を担当した講師の指導により矢じりを探すイベントを開催しました。矢じりとはメノウやチャートなどの石材で作られた原始時代の狩りの道具です。

講師からの説明の後、参加者からは「地元こんな遺跡があることを知れて良かった」「メノウを加工し、矢じりを作る当時の人の技術力に驚いた」といった声がありました。



▲拾った遺物について講師が「加工が難しいメノウの矢じりが多く拾えるのは常陸大宮の特徴」と解説がありました。

3/13

地元のそば打ち名人の技を学ぶ  
緒川小3年生がそば打ち体験授業

緒川小学校3年生が、緒川地域を中心に活動する弥七そば研究会の長嶋光行会長と檜山やひでさんの指導のもとそば打ち体験を行いました。最初に、名人たちがそばを打ち、そば粉と水を混ぜるところから、生地を切るまでの工程を学んだあと、各ペアに別れてそば打ちを行いました。

児童たちは大人たちが驚くほどの隠れた才能を黙々と発揮したり、懸命なあまり生地を極薄に伸ばしたりと、作業や出来上がったそばに個性が出ていました。



▲丸くまとめたそば生地が、一瞬できれいな正方形に変化する職人技を見た子どもたちから拍手が巻き起こりました。

3/29

辰ノ口親水公園で  
ふるさと再発見ウォーキング 開催

スポーツ推進委員会が主催する「ふるさと再発見☆ウォーキング」が開催されました。

道の駅かわプラザを発着点とし、<sup>ながたもえもん</sup>永田茂衛門が整備した辰ノ口<sup>えびき</sup>江堰や大杉神社(久地岡地区)を訪れる、約6.5kmのルートを3時間半かけて歩きました。

当日は天気にも恵まれ、参加者からは「春風が心地良い」などの声が聞かれました。和気あいあいとした会話とともにウォーキングを楽しみました。



▲辰ノ口親水公園では、少し早めの桜、菜の花、竹林の競演を楽しみました。